

平和台図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和2年11月2日(月)14時～15時30分
- 2 場所 平和台図書館 3階 会議室
- 3 参加者 利用者 14名 図書館 3名(平和台図書館長、副館長、館長代理)
- 4 テーマ 「地域と共に歩む～平和台図書館に求める機能・役割～」
- 5 配布資料 (1) 平和台図書館概要
(2) 平和台図書館まちあるきマップ
- 6 映像資料 (1) スライド：コロナ影響下でのサービス再開状況・統計・取組
平和台図書館が考える地域課題の提示
- 7 次第 (1) 図書館職員紹介
(2) 参加者自己紹介
(3) 平和台図書館長挨拶および平和台図書館概要説明
(4) 懇談
(5) 平和台図書館長挨拶

平和台図書館利用者懇談会 会議録

1 図書館職員紹介

(平和台図書館長、副館長、館長代理)

2 参加者自己紹介

3 平和台図書館挨拶および平和台図書館概要説明

皆様、ご出席・自己紹介ありがとうございました。今回のテーマは「地域と共に歩む～平和台図書館に求める機能・役割～」という事で前回に引き続き、地域連携について、重点的にお話をさせていただきます。また今回はコロナ影響下で図書館利用にどういった変化があったのかというのを、統計のデータとともにお話いたします。

皆様のご意見を重点的に取り入れたく、懇談の時間にボリュームを割こうと思いますので、私の話は駆け足でさせていただきます。

まずは令和元年度を中心とした平和台図書館の事業報告、その後に各施設・団体様が考えている、平和台地域の課題についてお聞かせいただければと思いますので、よろしくお願いします。

- (1) 平和台図書館の概要(施設のデータ、蔵書数の推移など)
- (2) コロナ影響下の開館状況(サービスの再開状況と利用統計)
- (3) 前回懇談会での意見に対する図書館対応(回答)
 - ・雑誌／新聞コーナーのレイアウト変更

＝婦人誌棚と新聞棚を反転させる事による利用者層のすみわけ

- ・布の絵本作品展示会の開催

(4) 実施事業報告

- ・『平和台図書館まちあるきマップ』の紹介
- ・地域連携イベントの実施報告 — 近隣町会、地域包括支援センター、学童クラブ

(5) 平和台図書館が考える「平和台地域の課題」について

- ・子育てしやすい環境／家庭での読書環境の整備
- ・地域施設／団体との連携
- ・ビジネス支援
- ・健康関連企画

4 懇談

図書館 それでは皆様のご意見をいただければと思います。マイクをお渡ししますので、ご意見をお願いします。

利用者 お話頂戴出来ましてとてもありがたく思います。私もそうなんですけども、図書館っていうものになかなか行く機会が無い。現代社会で何でもスマートフォンで調べることが多い。ご年配の方もそうなんですけども、体育館を皆さんに利用していただく中で、予約システムもやはりスマートフォン（対応）であったり、コロナ禍で簡素化もしております。ゆえになかなか図書館に足を運ぶという機会を作るのが難しいのかなっていうのを今聞いております。今我々体育館の方もコロナの対策で利用人数は減っております。8月9月で少しずつですが戻ってきておりますけども、やはりコロナが怖いからインターネットの活用が多い。我々もそうですから図書館も同じだと思いますので、その辺りは地域連携して、特に会議室など、図書館にしる体育館にしる、“平和台の施設をしっかりと使っていただく”ためにも、連携取りながらお互いにWin-Winで行けたらなと思いますので、今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました。

図書館 体育館はコロナ対策で屋外スペースを使って何か事業をされたりしていますか。

利用者 屋外につきましては今のところは庭球場と野球場があるのですが、その利用人数は制限しています。密にならないようにどうしても分散しなければいけないので、利用者にも最少の人数でご参加くださいという形でご了承いただいております。やはり利用者を増やしたいというのがあるのですが、増やすのは安全面を考えてしまうとどうしても箱の時間が決まっております、営業時間が決まっている以上は延ばすわけにはいかないのです、その辺りは感染対策を重視しながら実施しております。

図書館 参考になりました。ありがとうございます。

利用者 地域包括支援センターは、高齢の方に関する支援をさせていただいておりますので、多くの高齢の方とお話をする機会があります。皆さんよくおっしゃるのは、「昔は図書館に来て本を読んでいたのけども、最近ちっちゃい字が読めなくなってるね」とか、「出不精になって図書館に行かなくなった」という意見はたくさん聞きます。本の話から話が広がっていく事も多いので、そ

これから支援につなげる事もあるのですが、今回先ほどのスライドとか見させていただいて、本を読むだけではない図書館の利用方法があるという事もわかりました。私たちが今後考えていかなければいけない課題の中に、介護支援に力を入れていきたいのですが、「集いの場」を地域に多く作っていくというのがあります。訪問支援事業というものがございまして、平和台地区、北町、錦担当なのですが、お一人暮らしもしくは2人、高齢者世帯を順次回って、「皆様困っている事はないでしょうか」という事を聞きとって回っています。その中で、男性の一人暮らしの方、お仕事をお辞めになってその後家にいる方について感じる事があります。女性の方だと周りとのコミュニケーションをとって自治会に入る、老人会に入る、図書館に来てイベントに参加するという事で、地域とのつながりも多いのですが、どうしても男性は仕事を辞めた途端に地域とのつながりが無くなる。奥様のご健在の時はまだ良かったけれども、奥様が先にお亡くなりになった後、男性が一人取り残されるという方がこの地域でも多くいらっしゃいます。そういう方をどうしたら繋ぐ、出てきてもらうことができるのか。活発に参加してもらう事でなくても、とにかくどこかと線につながってほしい。隣の方でもいいし、図書館でもいいし。どこかと繋がってほしいという事を常に考えておりまして、できればまた図書館にも協力頂き、そういう男性をターゲットにした事業をしたい。私が思うに男性は「楽しいから来てね」ではいらっしゃらないと思うのですが、こちらから「助けて下さい、手伝ってほしい、知恵をお借りしたい」という声をかけていくと、比較的出てきてくださるかなと。来年度になりますけれども、そういう男性が1人でも多く誰かと繋がるような活動をしたいと思えます。

図書館 ありがとうございます。私も以前そのお話を伺い、本当にそう思いました。気がついた時にずっと家の中にいらっしゃった方が、元気だったのに出ようと思っても出られない位こもりつきりになってしまっているという話を聞いて、図書館としても何かできないかと思って。まだ思いつかないのですが、皆さんの中からも今いらっしゃる方からも、何かご意見ありましたら一言聞かせていただければ本当に助かります。男性向けのイベントをやったとしても、それがそこに届かなければいけない。届ける方法も一緒に模索して一緒にイベントをできたらいいと思います。一緒にやらないとわからない事だと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。何か皆さんもご意見ございましたら、よろしく願いします。

利用者 老人会から来ていますので、一言言わせていただきますと、周りの老人会の人たちもそうなのですが、図書館で老人会のメンバーに会うという事はほとんど無い。考えてみると、本っていうのはそもそも無理なので、ケータリングじゃないけどこっちから「こんな本がありますよ」って、お届けするようなシステムがあればいいかなと思いますね。足腰のきく方がいればボランティアになってもらって、訪問して「こんな本がいいよ、こんな本が出ましたよ」って。行けば接触の機会も増えるし、いいかなと思うけどちょっと面倒かなと思いますね。ちょっと急に浮かんだことだけ申し上げます。

図書館 ありがとうございます。これからどんなふうに図書館が高齢者に向けてサービスしていくか、いろいろと変わっていかねばいけない事も多いかと思えます。ご意見ありがとうございます。

利用者 ドキッと話す話で、あと数年経つと私も定年なので、その後数年後か数十年後かで私も一人

暮らしになるかもしれない。考えなきゃいけないですね。図書館のここが良いところというのは、こういう会議室の貸出用のスペースがあって、多目的に活動できる場所があって、強みだになって思いました。私どもの所はそういうのが全然無くて、区立で目的外使用を禁止されていますので。ここと同じかちょっと狭い位の食堂があり、作業室はすごく広いのですが、貸出が出来なくて。こういった場所があるって事は、ほんとにここで集って、男性の方も調べ物をする時図書館を活用するというような事に繋がりがいいと思います。私は今、障害者施設勤務なのですが、ここに来る前の施設は、知的障害の生活ガイドの通所型の施設なのですが、こちらも月に一回必ず図書館に行って、好きな本を借りてきておりました。私は破かれた本を持参し謝りに行ったり、弁償したりもしましたが、ご理解いただいて貸出してもらいました。その前の施設なのですが、特別養護老人ホームに行った時に、葛飾のホームに行ったときは、1階に図書館があって、その上に老人ホームで、1階でデイサービスもやっている。確かに高齢なので目が不自由で、本が見つらいって方もいらっしゃるのですが、本大好きって方もいっぱいいらっしゃるんですね。特別な図書館付きの老人ホームみたいな売りで、デイサービスに来たら本借りる日みたいな感じで良かったなって思いました。品川の特別養護老人ホームにいた時、多分、図書館員だけじゃなくてボランティアの方が中心だったと思うのですが、ワゴンいっぱいの本を持ってきてくれて、月に一回、いや二週間に一回、回ってくれるんですね。好きな本持ってきて、今度こんな本あるって聞くと、調べてきますってことで定期的に貸出なんかしてね、なかなか図書館に行けない人のために便宜を図ってくれて、ありがたかったかなーっという事を思い出しました。

図書館 ありがとうございます。図書館には、小さな字が見えにくい方のための大活字本があります。小説一冊がちょっと重くなってしまうのですが、3冊に分冊されています。それを大変楽しみにしてくださっている方がいらっしゃいます。ご本人様がお見えになることもありますし、ご家族の方が親御様のために借りていく姿もよく見かけます。

また外出困難者サービスというものがございまして、いろんな規約があるのですが、介護認定をお受けになった方に対しては、本の郵送サービスというものがあります。電話で光が丘図書館に申し込んでもらう。そうしたら光が丘から、本を送ってもらえる。返す時にはまた取りに来てくれるというサービスがございます。図書館はいろいろ少しずつ変わってきていますので、何かわからない事がありましたら、お声掛けしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

利用者 図書館を利用させていただいています。今老人の方、あんまり利用しないというのですがね、私もね、最近ね、大活字本っていうのをね、借りてみたのですよ。

図書館 どうでしたか？

利用者 そしたらね、すごく楽なのですよね。厚くなっていますけどね。それだけね、一冊が半日とか一日で読めちゃうのですよ。前はちっちゃい字で読むと疲れたのですけどね。それは最近発見したのですが、このごろよく利用させていただいて。ほんとに図書館は新刊本とかそういうのもね、申し込むと、必ず順番回ってきますので、私はいろいろ利用をさせてもらって、もう感謝で。ありがとうございます。

だから、そういうものがあることを、ご老人の方々に宣伝して頂ければ。ほんとにね。読みいいのですよ、疲れな。

利用者　そうですね、私も大活字本は良く借りて。すぐ読めて達成感ありますから。

図書館　平和台にある数は限られていますので、聞いていただければ予約して他の図書館からお取り寄せ致しますので、まず読みたいものがあるのか聞いていただくといいと思います。電話でもかけていただいて、取り寄せをして届いた時に取りにおいでになるという形にすれば、とても便利だと思います。

利用者　わたしは文庫連絡会のメンバーでもあるのですが、それと同時に地域の家庭文庫で活動しています。練馬の家庭文庫は以前はたいへん盛んでもものすごく数があった。今は家庭でというよりは、例えば学校の開放図書館だとか、児童館とか保健相談所とかでやってらっしゃる方もいらっしゃいますが、中々普通の一般家庭のおうちでやっている方は少なくなっていると思うのです。そこの1つに、メンバーに加えていただいて、毎週水曜日、赤ちゃんのおひざの上と、それから幼稚園の子ども向け、小学生の子ども向けというかたちで、文庫活動をしています。そうすると、そこに来ている子どもたちって、こういう施設が近くにあると、この子どもたち幸せだなんていつも思うのです。平和台図書館でブックスタートをやっていた時に、とにかく小さい子どもさんを持ってらっしゃる方が多いので、いつも満席ではないですけど、たくさんの方がみえて。若い方が多いという土地柄もあるのでしょうか、子どもが本にふれるとか、あるいは手遊びするとかそういう場っていうのはあるのですが、なかなかそのすぐ近くっていうのが、見つからない方がいらちゃって。平和台なんかは交通の便があまり良くないですよね。よくブックスタートをやっていた時に道に迷った方がいらちゃった。前から比べたらブックスタートという言葉にもなじんだという事もあって、利用されている方も多いと思うのですが、特に小さい子どもさんがせっかくこんな素敵な児童室も出来ましたし、もっとう家庭文庫的なね、なんかあまり気を使わずにふっと入れていけるような、そこに行けば楽しいことあるんだ、読みたいな、そういう場に図書館もなっていくと、とってもうれしいかな。今、館長さんの方から話のあった団体貸出がとても多くなっているっていうのは、すごく素晴らしいことだと思うのですが、自分で動いて行くっていう事が出来ない小さい子どもさんはどうしてもお母さん、お父さんに連れられて来ますから、そういうお子たちの「ここに行けばこういう事がある」っていう、そういうことがもっと多くの方に、例えば回覧板なんかでも時々お知らせが入ってきますけど、目につく物がもっと手近にあると利用が増えるかなって思います。せっかくこれだけの施設がありますから、もっと多くの人たちに利用して頂きたいなっていうのは感じます。

図書館　ありがとうございます。おいでになってお子さんすごく楽しいと言って帰られます。知らない方もいらちゃるとい事が課題であると思います。

利用者　特に意見っていうのは思いつかなくて。図書館がたくさん事業をしているのだからっていうのを初めて知って、ほんと活用したらありがたいなっていう感じがしました。私たちは布の絵本を作っているのですが、制作はしているのですが、子どもたちが見たり読んだりっていうのを見る機会が無くて、今回図書館の方で機会を作ってくくださったので、なんかちょっと楽しみに、どのように接してくれているのか、を見られるのは楽しみにしています。布の絵本と言っても、糸を付けたりとか刺しゅうしたりとか、布に絵を描いたりっていうものではなくて、ひもをやるとか、マジックテープを使って引っ張ったり結んだりほどいたりとか、そ

ういうのもできるような、遊べたり考えてもらえるような作品を作っていくので、もしお子さんとかお孫さんとか、小さいお子さんと一緒に楽しんでいただければいいなと思います。

図書館 ありがとうございます。たんぽぽさんは既存の作品だけでなく、オリジナルの作品なども作っていただいて、とてもきれいなものからすごい遊べる力作もたくさんあります。

利用者 まちの地図も、おっきいのを作って、道路とか消防署とか警察署とか作って、おもちゃ、車のおもちゃで遊べるような感じのものも作っています。

図書館 いろいろ工夫してくださっていて、いつもありがとうございます。

利用者 私はブックスタートに携わっていて、ブックスタートでは布の絵本も絵本と一緒に紹介させていただいて、お母様たちに見せると、ほんとにエーッすごいっていう感じの反応があって、今回布の絵本の展示会があるという事で、すごくうれしいです。昔この部屋を使ってやった時も、芸術作品みたいなものを見てすごい感動したことがあるので、今度の展示は楽しみにしています。ブックスタートは赤ちゃんと保護者の方が対象です。よみきかせ・おはなし会とは小さいお子さんや小学生くらいまでのお子さんが対象です。ブックスタートが7月に再開された時は今までになく、廊下に列が出来るくらいに沢山の方が参加してくれましたし、先日もかなりの人数が来たというのを聞いております。やっぱり皆さんすごく待っていらしたのだからというのと、小さいお子さんと保護者の方々の行く場所として、あまり遠くにも行けないし、近くに親子で行ける場所として、図書館が認知されているというのかなと、ちょっと感じています。図書館はほんとに館長さんのお話にもあったように、幅広く赤ちゃんからお年寄りまで使える施設ですので、ほんとに幅広く事業してらっしゃるのだからという事で、今まで知らなかった事も聞かせていただいて、驚きました。個人的には講座が魅力的なものがあるので、時間とか合えば…去年でしたっけ、グラフィックノベルの講座があってそれは興味深く聞かせていただきました。なので、いつも講座の掲示板はちらちら見えています。

それから、一つだけコロナの各図書館でコロナ対策って結構違うのだから。わたし、他の図書館もちょっと使う事がありまして、一つは書架の本を触ったら、今、平和台図書館は机の上に置くってなっていますし、籠の中に入れるという図書館もありますけど、ある練馬区の図書館なのですが、全然そんなことしなくて戻して良いっていうところがありまして、入り口でしっかり消毒して入ってくれているので、そこは何にも、書架から取った本は戻して良いってことになっているっていうのを聞いて、練馬の中でもずいぶん対応が違うのだからというのと思いました。私が利用する時にちょこっと見たい時とか、それをまた置くのかと思うと、どうしても見たいものは読んで机に置きますけども、ちょこっとっていうのがちょっとブレーキがかかるっていうか…。なのでそこらへん、ほとんどの図書館は別置っていうか触ったものはカゴなり机なりに置いてってしていると思うんですけど、そういう図書館もあってこの間そうかって思ったので、その所お伝えしたいと思いました。

図書館 ありがとうございます。

利用者 私は先ほどお話ししましたように、よみきかせじゃなくておはなし会、素話をするおはなし会をやっているのですが、一時期とても人数が少なくて、今日お客さんいらっしゃるかいらって心配の声もあったのですが、最近ちょっと人数が増えていまして、そういった面ではやりがいが出ています。その時ですけど私たちも迷惑にならない程度に、できるだけ一步入り

こんで、「何ヶ月ですか、何歳ですか」ってお聞きして、その年齢に合ったものをなるべく提供して、参加したお子さんも3つのお話のうち1つは楽しかったって覚えていただけたらって思っています。事前にプログラムを考えるよりは、お客さんに合った状態のお話を届ける形にしておりますので。そういう中では反応をこうだったああだった、と終わった後で確認するなど、こちらからも月齢・年齢などを聞きながら、状況にあったお話が出来ればなって思っています。こういった積極性をもうちょっと心がけた方がいいなっていうのを、今日お話を聞いて思いました。あとわたしは日頃はボランティアでこちらに伺う事があるのですが、通常は光が丘図書館を使っているのですね。光が丘のリサイクルコーナーのところに行くと大体お客さんがいて、見てもらうなりなんなりしていますし、平和台さんもリサイクルコーナーがあって、状態によっては貰うのだから知り合いの人が言っていましたので、リサイクルコーナーなどをきっかけに図書館利用に広がっていくといいなと思っていました。

それから先ほど伺った中で大活字本っていうのは、それを人気があるっていう事なのですが、本に明るい方はよく知ってらっしゃるかもしれませんが、そうじゃない方は大活字本が図書館にあって借りられるってあまりわからないのじゃないかなって思います。そういった面ではPRが必要で、また、ネット利用が増えているってことだったのですが、ある程度の年齢じゃないとネット使う機会が少ない方も高齢の方はいらっしゃるので、その分回覧板、新聞読まなくても回覧板は見ているかもしれないので、そういったものも利用しながら、地区の老人会の会合に出向くとか、一定期間団体登録した大活字本を一週間とかその期間だけ借りられる方法とか、“図書館から出向いていく”そういった取組があつていいのかなって思いました。なぜかという、出前の紙芝居の話ですけど、すごく楽しそうで、もっとたくさん見たい人は図書館にあるよって、呼び水になったりするのかなっていうのがあつたりするので。そういうので出ていく、お客さんに興味を持ってもらうのが大事なんじゃないかなって思います。あと近くの保育園で出前みたいな形でよみかせをチョイっとやるのですが、そんなときに紙芝居をお借りする時があるのですが、ケースがあつた方が紙芝居は楽しめると思うのですが、紙芝居のケースが若干重くて、持ち運びが大変だなと、雨の日なんかは特に思いますので、軽量の物なんかも用意していただければいいなあとと思います。

図書館 ご意見ありがとうございます。

図書館 ちなみに、練馬おはなしの会さんは1979年に設立、発足されて2019年で40周年なのです。1年遅れではあるのですが、平和台図書館でも40周年記念ということで、ねりまおはなしの会さん・平和台図書館共催で、「手話付きのおはなし会」を今年度内に実施予定ですので、皆さん是非申し込みご参加いただけたらと思います。

利用者 自分自身思い出すと、3年生くらいの時に、学級文庫があつて、そこにあつた『西遊記』を読んで何十回も読んだ覚えがあります。お子さんに関しては、こういった機会に本に触れる、文化に触れるっていう習慣付けておくと、いずれ大人になって足しげく来られる、図書館に来られる人になるのかなって思いました。それと、さっきお話ししましたが、老人は足腰が立たなくなってくるので、都会ではありますけど、過疎地と同じですね。動けないということ考えると。ニュースなんかで時々見るのは、田舎の村で移動図書館が来て老人たちがたくさん本を借りていく場面を見たことありますけど、こちらからほんとにさっきお話ししましたが、

持って行ってあげる仕組みがあったらいいなって思いました。

利用者 今日テーマは「地域とともに歩む図書館の機能と役割」ってことなのですが、まずはいろんな団体のサークルとか、たぶん有効に図書館を活用されているのだと思いますが、こちらに来館される方は個人の方が9割位を占めているのじゃないですかね。人数的にはどうなのでしょう。

図書館 団体に所属ではなく個人でということでしょうか。

利用者 はい。団体の方や、イベントの参加者など、ああいうので来館される人数と、今日はこういうのを読もうかなとか、雑誌読みに来ようとかそういう方の人数の割合は、たぶん殆どそういう人の方が多いのじゃないかなって思うのです。8割9割占めてるのじゃないかなと。

図書館 そうですね。

利用者 その人たちは、この図書館をどうやって利用しやすいのかなと、利用しやすくしてくれたらいいのかなと思うのは、このメンバーで話すのはですね、もっとですね、主婦だとかPTAとか、子育てやっている人とか、学生とか、老人とか、そういう人をですね、もっと広く集めた方がいいのじゃないかと思うんですよね。そうじゃないと、そういう人たちの意見が入って来ない。今言ったのは、老人たちは大きな活字のが欲しいとかありますよね。それは老人会を呼ぶとそういう意見が出てくる。じゃあ、もっと若い子育ての世代の、若いお母さんたちはどういった意見を持っているかですよ。ここに出てらっしゃる参加者たちはそういう意見を持ってらっしゃるわけですよ。活用しやすいとか。もっとこう学生を入れるなど、いろんな人を来館者の中にお声掛けして、「いかがですか？懇談会がありますけど？」と、そういう人たちを呼び寄せて幅広い意見を聞いた方がいいのじゃないかなって思うのですよね。そうじゃないと私も何度か出ていますが、同じような意見になってしまうことがあるのですよ。そういう意見を聞くのであれば、来館者の幅広い人選をして、その中で意見を集約していく。その中でいけば学生は学生の意見が出てくるのじゃないかと思うのですよ。今、あそこの勉強スペースって言うのですか。なんていうのですか。

図書館 閲覧スペースです。

利用者 閲覧スペース。あれはどういう方がどの程度の割合で使っているのですか。勉強スペースになっている。皆様は本を読みに来ようとして、棚から借りてあそこで読んでいる人が多いのか、学生の勉強している人が多いのか、ちょっとわかります？どの程度入っているのか、2階に上がるケースが少ないものですから、あそこが有効に使われているだろうかと。快適な読書空間というのであれば、そういう所をもうちょっと…。雑誌コーナーなんか結構混んでいますよね。スペースは広がったのかもしれませんが、ああいう所も読みやすいようなスペースを取ってもいいのじゃないかと思う。ここの蔵書のジャンルっていうのは、技術書だとかとか専門書だとかあると思うのですが、その中に小説だとかいろんなジャンルがありますよね、雑誌だとか新聞とか。どういったものが一番利用されているのか、そういったもののコーナーを増やしているのか減らしているのか。何冊あるかじゃなくって、どういうジャンルが一番利用されているか。そういったものを増やしていく必要が、図書館にはあるのじゃないかと。来る人は借りて帰っちゃう人とそこで読んでいく人の割合は分かりませんが、たぶんほとんど借りていくのじゃないかな。読んでいく人のスペースっていうのは、もうちょっと場を作るのに

蔵書を減らしてもいいと思っていますよ。今年度 14 万冊あるわけですよ。これのうちの雑誌コーナーなんかは広げてあげてもいいのかなと。閲覧スペースをちょっとそういったところに使ってあげてもいいのかって。快適な読書空間というのであれば、そういうのを考えてもいいかなと。さっき言った、大活字本だとかそういうものってのいうのは、掲示板なんかに掲示すればいいのですよ。こんなのありますよっていう。あるいは、外に向けて本を開いた状態で掲示することはできないですよ。なんか貼ってありますよね。

図書館 掲示板ですか。

利用者 掲示板でなくて、こっちなんか作品みたいのを貼っていませんでしたっけ、照明側。

図書館 ございます。

利用者 そういう掲示板に貼っちゃうとまずいので、何かのスペースに大活字本がありますよって。入口に何冊かコーナーを設けて置いとくとか、そういう PR とか。掲示板に貼ってもいいかな。そういう方が広報になると思うんですよ。広報の仕方が問題かなと思います。私なんか新聞読んでいて日経新聞と読売新聞なんかは字の大きさなんか違うでしょう。だんだん年取ってくるとね、字が小さいのです。読売新聞はでかいのです。あれはたぶん、みなさんお気づきかどうかかわかんないですけど、確かに年取ってくると大きい字の方が読みいいよね、日経辞めちやおう、面倒くさいし、スマホで読めばいいやっとなってきちゃう。広報してあげないとわからないところがあると思うのですよね。もうちょっと広報してあげてもいいのじゃないかなって気はしています。あと、関係なくはないのですが、我々は役所に行った時に一番感じるのは、非常に態度が事務的だということです。住民票取りに行っても、「何番の方どうぞ」ってそれで終わりなのです。じゃなくって、もうちょっと住民サービスから言ったら、商売人じゃないのだから「いらっしゃいませ。ありがとう」と言わなくてもいいけども、「お疲れ様でした。またのご来館を」と、なんかそういうのがあってもいいんじゃないかと思うのですよ。区役所行っても住民票取っても印鑑証明取っても、あんまり無いですよ。これは、下手するとやってあげているのだからあるかもしれないし、もうちょっと利用者目線から言えば、料金も取ってるんだから「お疲れ様でした、ご苦労様でした」って言ってあげてもいいかなって思う時はあります。なんか言っても冷たい素ぶりだなんて思うことはありますけども、そんなもんじゃなく、民間だったら違うだろうと思うのですよ。民間だったら、「ご利用ありがとうございます」って絶対言うと思うのです。図書館は「ありがとうございます」って言わないかもしれないけども、何か適当な言葉があるのじゃないかと思うんですけどね。懇談会参加者のジャンルを増やせば、いろんな意見が出てくるのじゃないかと思うのでうよ。人選を幅広くすれば、ぜんぜん違う意見出てくるかもしれないですよ。

図書館 ご意見ありがとうございます。図書館を使っていない人たちに対して、どういった理由で使わないのかということ聞き取る「街角聞き取り調査」を計画しております。そこで若い方からお年寄りの方までの幅広い意見を募集していこうと思っております。このあとに町会様に回覧版での協力をお願い出来ないかなと思っております。蔵書につきましては、現在の図書館にはさまざまな役割があるというのはここまでお話しさせていただいたのですが、例えば子どもが立ち寄り場・居場所としての図書館もあれば、家庭での読書環境を整える場としての図書館もあるのですが、メインコンテンツが本であることに変わりはありませんので、そ

れを削減してというのは今の時点では考えておりません。

実際、こういったものが利用されているかというのは、今図書館システムがかなり統計の取り易いものになっていて、平和台図書館での選書担当者が人気の本には常に配慮しております。ただこれは難しいもので、人気のあるものだけをたくさん入れればいいという単純な話でもなく、たとえ一年間に一度も利用されない本であっても、必要な資料は購入を考えて選書をしている現状です。よろしくお願いします。

利用者 この図書館に来て、冷たさは感じていませんよ。

図書館 ありがとうございます。たとえば天気の話など、適宜お声かけしております。図書館職員個人の経験に尽きる場所もあると思いますが、温かい図書館にしようと心がけておりますのでよろしくお願いします。

利用者 すいません、他の所です。この前住民票取りに行った時のことです。役所全般にそういうところが多い感じがしていたもので。

利用者 この図書館でここ何年か、短歌の東直子さんをお呼びして、短歌講座を開いてくれている。そこに行きますと、30代くらいの若い方がほとんどで、今風の歌を、こんな風を作る人もいるのだと思うような短歌講座が開かれています。全く雰囲気違います。今の子の、そういう一面がここにいたらわかりませんが、そういう活動がとてもいいと思います。それから、私なんか図書館に期待するのは、家でテレビを見ているのじゃなくて、夫と二人で生活しますけども、ちょっと時間があつたら歩いて図書館行ってみようか、図書館行って昔読んだ自分の好きな、新聞でも雑誌でも、静かで、暖かかったり、暑くなかったり、そういう所で自分の足で歩いて自分で選んで、自分の目で見て、そういうことができる場所っていうのは図書館しかないのですよね。私たちくらい年配になると、よみきかせも布の絵本も孫の話であって、自分が来て楽しんでという所はやっぱりなんていっても図書館だけです。そういうことから考えていくと、図書館っていうのは“文化の最後のよりどころ”で、そこらへんは基本的な活動として残して欲しい。起業するのもいいし、私たちの世代ではチャンスは無いと思いますけども、とにかく図書館っていうのは小学校の図書室で読んだような本だってあるし、今の新聞の下の方に宣伝が載っているような本も、ちょっと待っていれば読めるし、“最後のよりどころ”だって思っている方がたくさんいると思うですよ。そこらへんの要求、要望っていうのも持っていて欲しいと思います。だから繰り返しますが、短歌の講座なんて30代の若い人たちが、たくさんみえているのですよ。私もびっくりしましたけれども、そういう方たちも図書館を利用している、図書館に目を向けているってことがやっぱり素晴らしい事だって思いました。以上です。

利用者 児童館、児童館に付属しています学童クラブの施設長をしております。児童館といいますので、0歳から、18歳までの子どもたちがくる施設なのです。皆さんから聞ける話というのはとても貴重で、挨拶の話なんて我々も身につまされる話で…。今日帰ったら職員に周知しますね。そういうのを生かしていけたらなって思います。あと、3月の遠足の時、ラリーで協力頂きありがとうございます。実は児童館、学童クラブの子どもたちがこの地域の子、7人くらいで回って、その1つのポイントとして図書館に協力頂きまして、温かく迎えていただいて、シールまで頂いて、子どもたちが大騒ぎしましてね。その日学童クラブを休んだ子どもたちが「い

いなー！いなー！」って言いながらですね、そういった関わりを作って頂きました。ほんとに感謝しています。子どもは体育館もそうですし、図書館もそうですし児童館も“館(やかた)”ですよ、館として地域の中にある施設です。われわれは年齢的には子どもってくりがありますけども、体育館、図書館は年齢の幅関係なく来館されているってことで、地域の館として一緒に立っているの、是非協力しながら地域の方々に利用して頂き、役立つ情報を提供できたなって思いました。

すごくもったもなご意見で、私も思っていたのは、実は「ここに幼児さんのお母さんとかが居たらいいなー」って。ちょっと感じていたのですね。ただ確かに来るのは腰が引けちゃうというか、足が向かないってことはありますし。例えば体育館であれば中高生がバスケットをしてから体験したいってこともあると思いますし、児童館だったら乳幼児の保護者の方もいらっしゃいますし、学童だったら小学生がいるっていうような形で、ちょっとそういう年齢層の子どもたち、それから利用者の年齢層が当てはまれば、そういう意見も吸い取れるかなってということもあるので、何かお互いに協力できたらなって思いましたので、何かありましたら是非声掛け頂けたらなって思います。皆様すごく熱心で、すごい熱が伝わってきて、図書館に対しての気持ち…、本当にいろいろ考えてらっしゃってとても勉強になりました。我々も子どもから、保護者の方からそう思ってもらえないなって思いました。今後もよろしくお願いします。

利用者 小学校で図書館開放委員をやっていて、子どもの様子を見て思ったことがあります。子どもは本の扱いが乱暴な子がいるのですね。図書室で寝ころんで本を読んだりして、本が大事な物なのよっていうのがわからない子が、全員とは言わないけれども、そういう子どもたちもいるのですね。図書館の本も何年か前に問題になったと思うのですけれども、切り取りとか破れとか落書きとか問題になったことありましたよね。今はそういうのがどういう状態なのか知りたいのですけど。

図書館 まず、団体貸出で貸し出された本が一部破れたり書き込みがあったりすることはあるにはあります。ですが、それほどの数ではないです。たまに特定の児童の方がやってしまったというケースもありますが、それもちゃんと学校の方が対応してくださっていて、それほどの数ではないですね。

図書館 そうですね。カウンターで弁償受け付けする件数は大きく変化というのは無いと思います。弁償手続きそのものの是非については、この前文庫で活動されている方のお話を聞く機会があり、「本は破かれたりすれば、それだけ読まれた証でもあるので、小さい子にとっては好ましい。それでいい！」っていう意見を頂きました。一方で図書館を管理運営する側としては、資料は公平に皆さんになるべく多く提供しなければいけないものなので、適切に管理を、小さい子であっても親御さんに弁償をお願いする場合もあるのですけれども…。その時話に出たのは例えばリサイクル資料の本・絵本・子ども向けの物は自由に、どういう風に使ってもいいよって、小さい子に渡すとか、そういった事業に持っていったらどうかなってアイデアを頂きまして…。図書館の蔵書は大切に扱う、大切に扱わないといけないってことは、図書館員も伝えなきゃいけないと思うのですが、一方でリサイクル資料などを使って、子どもが自由に使っている物を揃えるってことを両立できたらいいなと思っております。答えが違うものになってしまいました。すみません。

弁償の件数は極端に減ってはいないのも事実です。利用に関する啓発展示や、大人向け子ども向けの図書館ツアー等での啓発を検討し、「資料を大切に使おう」というポジティブな側面で定期的にお伝えできたら、と考えております。

5 平和台図書館長挨拶

本日は長い時間ご出席頂きありがとうございました。“最後のよりどころとして”との言葉は前回も頂きました。その気持ちをさらに強く持って運営してまいります。平和台図書館が地域文庫で活動されていた方々の尽力もあって開館しているという経緯もございます。そのことも胸にひめて、図書館を運営してまいります。そして図書館サービスを外に発信するというのは、ここ2、3年での平和台図書館の課題としてあげております。駅やバス会社など公共インフラなどを使って、サービスの周知を図っていかうと思っておりますので、よろしく願いいたします。本日はご出席ありがとうございました。